

第1学年道徳学習指導案

平成27年 月 日 () 第 校時
 児童数 名 (男 名 女 名)
 指導者 五味 俊夫 + 各担任

- 1 主題名 社会の秩序の維持 4 - (1)
 2 資料名 「キャッチボール」 出典 (正進社「キラリ☆道徳」)

3 本時の学習指導

(1) ねらい 法のきまりの意義を理解し、社会の一員として行動しようとする態度を育てる。

(2) 展 開

※学校課題との関連

◎人権教育との関連

段階	主な発問と学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 このクラスの中でどのような「きまりや約束」があるか、発表し確認しよう。(5分)		・ 価値への方向付けをする。
展 開	2 資料「キャッチボール」前半部の範読を聞きながら、明夫の気持ちの変化を思い浮かべる。 (1) 「どけよ!。」と言った明夫はどんな気持ちだったろう。 (2) 小さな女の子を連れてたおばさんから「やめなさいね。」と言割れたとき明夫はどんな気持ちだったろう。 (3) 「どこでやれっていうんですか。」と言った時の明夫の気持ちを役割演技で確認する。 3 資料「キャッチボール」後半部の範読を聞きながら、明夫の気持ちの変化を考える。 ◎ (4) 運転手が「いったいどこに止めろっていうんだよ。」と言われた明夫と運転手、試合前のおばさん気持ちを役割演技で確認する。	・ じゃまだな。 ・ 横切るなよ。 ・ 場所がせまいな。 ・ ムカつくな。 ・ うるさい、おばさんだ。 ・ 無視しようぜ。 ・ 聞いてられないよ。 ・ うるせえな。 ・ 空気、読めよ。 ・ 練習しないと。 ・ 邪魔するなよ。 ・ 約束、きまりを守れよ。 ・ 迷惑なんだよ。 ・ 僕も同じことをしたな。 ・ きまりは守らないといけないな。	・ 分析記号の付いている資料を生徒に配付し、心の動きや変化を感じたりしながら深い読みをうながす。 ・ 約束やきまりがあることは分かっているが、練習するしかない明夫の気持ちを感じ取らせたい。 ・ こちらの負をつかれて、逆ギレしたい心の揺れを感じ取らせたい。 ・ 役割演技(ロールプレイ)の方法について、簡単に説明をしてから演技させる。 ・ 役割演技の中で、明夫の言動について共感させたい。 ※役割演技の技法を使いながら、子供たちの気持ちや考えを言わせることで、本時のねらいにせまらせない。 ◎自分の考えや思いを自由に言えたり話したり(演技したり)できる雰囲気作りを考えていく。 ※2度目の役割演技(ロールプレイ)を行い、(3)での役割演技での明夫の言動と比較させる。
	4 自分の生活の中で、「約束やきまり」を破った経験があるか発表しよう。(7分)		・ 学校生活や家庭生活の中で、本時の価値にせまるために、生徒たちの本音を引き出し、その理由や考えなども引き出したい。
終 末	4 教師の説話を聞く。(3分)		・ 実践意欲につながるような、具体的な事例などを用意する。

- 2 事後指導 学校生活の中で約束やルールを考えて、規律ある生活、行動ができているかを朝や帰りの会等で賞賛していく。